

対象年度		令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		商工業振興事業						予算事業名		商工業振興事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	結城市中小企業等振興基本条例			
				07	01	03	1101	経常経費					
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業			
		活力と創造力を育む商工業の振興								商工観光課			
		活力ある地域産業の振興						担当課係等		商工振興係			
事業期間		継続 ( 年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
①市内商工業の振興発展が図られる。 ②新たな地域資源の発信及び地域の活性化が図られる。						中小企業相談事業は、商工会議所内に設置された「中小企業相談所」が実施する経営改善普及事業に対し、組織の機能強化を目的に創設された制度である。 新商品等開発事業補助金は令和6年度に新設した。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
①各団体の事業に対する補助金の交付 ・結城商工会議所 (中小企業相談事業・商工業振興事業) ・結城桐製品組合 ②新商品開発等事業補助金 ・中小企業により新商品の開発及び既存商品の改良に要する経費の一部 (2/3、上限50万円) を補助する。 ③住宅リフォーム資金補助金 ・住宅の改良や補修を行う市民にリフォーム資金の一部 (1/10、上限10万円) を補助する。 ※今年度実績により廃止も検討						①市内事業者 (結城商工会議所会員、結城桐製品組合等) ②市内中小企業及び小規模企業、個人事業者 ③市民 (リフォーム工事实施)							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						国内経済は、緩やかな回復基調が続いているが、本市を含む地方の中小企業に関しては、厳しい状況が続いているのが現状である。 また、令和6年度に制定された結城市中小企業等振興基本条例に基づき、令和7年度に結城市中小企業等振興委員会が設置された。 住宅リフォーム補助金の財源である社会資本整備総合交付金は令和8年度に見直しとなる。							
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金交付 ②新商品開発経費に対し補助金交付 (シン・いばらきメシ総選挙開催予定) ③住宅リフォーム資金に対し補助金交付				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金交付 ②新商品開発経費に対し補助金交付 (シン・いばらきメシ参加品PR) ③住宅リフォーム資金に対し補助金交付				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金交付 ②新商品開発経費に対し補助金交付 (シン・いばらきメシ参加品PR) ③住宅リフォーム資金に対し補助金交付					
■ 事業費													
				R06年度		R07年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	2,250	2,250						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般		財	源	20,343	19,883					
歳		入		計 (千円)		22,593	22,133						
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)								
	07	報償費	30		24								
	08	旅費	137		130								
	10	需用費	223		32								
	13	使用料及び賃借料	0		11								
	18	負担金補助及び交付金	22,203		21,936								
	歳		出		計 (千円) (A)		22,593	22,133					
	伸		び		率 (%)			-2.03					
	備考 総合計画 88 ページ 予算書 145 ～ 146 ページ												

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	中小企業等振興委員会会議	回	目標	0.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	住宅リフォーム資金補助金交付件数	件	目標	50.00	60.00	0.00
			実績	38.00	0.00	0.00
成果 指標	中小企業者数	社	目標	1,845.00	1,845.00	1,850.00
			実績	1,843.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	市内の商工業や地域産業の振興のために必要な事業である一方、住宅リフォーム補助金の必要性は減少している。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が商工会議所や市内中小事業者に対して支援することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	補助金交付により振興を図ることは妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	特段の問題はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	補助金交付先は限られるものの、公共性の高い団体であり問題はない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	各団体への補助金は有効活用されているが、住宅リフォーム補助金は市民のリフォーム需要を喚起しているとは言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	各団体への補助は例年満額交付しており、十分に活用されている。住宅リフォーム補助金は減少傾向（R4:51件、R5:51件、R6:38件）にある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各団体への補助については継続する。新商品開発等事業補助金は令和6年度開始のため、効果を検証していく。住宅リフォーム補助金は経済効果の小ささや需要の減少により見直しが必要。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
引続き補助金交付先と連携して、事業内容を適宜見直しながら、より効率的に実施していく。また、住宅リフォーム補助金を廃止した上で、結城市中小企業等振興委員会において商工業振興施策を検討していく。			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 結城商工会議所をはじめ、各団体への補助制度は効果的である。なお住宅リフォーム補助制度については、現在も継続的に申請（利用）があるものの、類似している補助制度も存在することから、将来的な見直しも検討する。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
管理課連絡欄